

分科会A:予育て



三菱UFJリサーチ& コンサルティング 尾島 有美

男女かかわらず、仕事も子育ても大事にしたい、という希望は、どうすれば叶うのか。女性活躍やダイバーシティ推進の取組が進んできた今だからこそ、皆さんと一緒に考えたいと思います。

育児と仕事の両立は「個人」の中のダイバーシティを広げる貴重な経験です。ダイバーシティ推進担当者として、両立社員がイキイキ活躍できる環境作りを一緒に考えたいと思います。



日本ユニシス株式会社 組織開発部 ダイバーシティ推進室 室長 宮森 未来さん

夫婦ともに働きながら子育てもしやすい社会。子 どもが健やかに育つ環境。

それは家庭だけの問題ではありません。企業とと もに地域も応援します!



NPO法人子育てひろば全国連絡 協議会理事長/認定NPO法人 びーのびーの 理事長 奥山 千鶴子さん

分科会A:子育て 概要

協力団体:にっぽん子ども・子育て応援団

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

■ 子育て分科会~夫婦ともに子育てを担いながら働く社会づくりのために~

概要

- 女性活躍が進み、男女関わらず活躍が期待される中、夫婦ともに正社員で働く共働き家庭が増えています。しかし、仕事と育児の両立に葛藤を感じている人も少なくありません。
- 企業のダイバーシティ推進は、本来個人にとっても多様な働き方の選択肢につながるものであるはずですが、企業での活躍に注目が集まる陰で、「子どもが健やかに育つ環境」という視点は置き去りにされていないでしょうか。夫婦ともに子育てを担いながら働く社会づくりのために、地域、企業はどうあるべきか、考えます。

登壇者 ご紹介

- NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長/認定NPO法人び一のび一の 理事長 奥山千鶴子氏
 - 1996年育休取得第1号となるも両立かなわず退職。2000年空き店舗にて親子の交流の場を立ち上げ、その後児童福祉法に位置付けられた地域子育て支援拠点事業に発展。地元横浜市港北区の活動に加え、全国の子育てひろばの連絡会を設立。内閣府子ども・子育て会議委員他。

■ 日本ユニシス株式会社 組織開発部ダイバーシティ推進室室長 宮森未来氏

- 2006年12月、日本ユニシス(株)へ入社。営業としてメガバンクや信託銀行等金融機関へのセールス業務を担当。2016年4月にダイバーシティ推進室へ異動し、全社のダイバーシティ施策の企画・推進に携わる。2019年4月より現職。
- 日本ユニシス株式会社 ソリューションサービス本部一室 森 弘樹氏
 - 2014年4月、日本ユニシス(株)へ入社。製造業界へのセールス業務を担当後、システムエンジニアとして 新規ビジネスモデル企画を担当。2019年8月、第一子(2018年12月生)の育児休職を1か月間取得。

参加対象

- 企業のダイバーシティ推進担当・人事担当の方
- 子育て支援活動当事者(地域で子育て支援を行っているNPO等)の方



分科会A:子育て プログラム(予定)

所要時間	テーマ	主な内容
5分	ガイダンス	■ ご挨拶、分科会プログラムの説明 ■ 登壇者のご紹介
10分	問題提起(MURC)	■ 共働きが増え、女性活躍に注目が集まる中、男女関わらず活躍してもらいたいと考える企業と、子どもを育てながら働く人々、それぞれの課題について解説します。
20分	子育て支援団体からの 問題提起	■ 地域の子育て支援を担っている団体から、親の働き方や子育て環境が変化する中で、子どもの育ちについて懸念される影響や、子育ての悩みの変化などについて、発表いただきます。
20分	企業の取組事例紹介	■ 企業で取り組んでいる、夫婦での子育てを支援する制度・取組等(例:夫婦セミナー、子育て中の男性社員の座談会、テレワーク等)について、発表いただきます。
	(人事担当者、男性社員)	■ また、そうした支援を利用した経験がある男性社員から、夫婦で子育てをするうえで役に立ったこと、男性が育児に関わる際の課題、今後さらに支援を望むこと(企業だけでなく、行政や地域も含めて)等を発表いただきます。
5分	問題提起(MURC)	■ 夫婦での子育て(特に正社員カップル)について、子どもを育てながら働く人々が抱えている課題は何でしょうか。■ 課題を解決するために、企業、行政、地域に求められる支援や役割は、どのようなものでしょうか。
15分	グループディスカッション① (最初に自己紹介)	 共働きで子育てをしている人々が抱える課題や悩みは、どのようなものがありますか 企業で働くうえで、もしくは、子育てをするうえで、それぞれどのような課題や悩みを抱えていると思いますか。 男女、業種や規模、居住地域等の視点からも違いがあるか、考えてみましょう。
20分	グループディスカッション②	 夫婦ともに子育てを担いながら働くことができる社会のために、 企業における働き方やキャリア形成について、今後どのように見直していけば良いと思いますか。 地域の子育て支援団体や行政は、夫婦で働きながら子育てをしているパパ・ママに対して、どのような支援ができると思いますか。 企業、働く人々、子育て支援団体、それぞれの立場から考えてみましょう。
25分	全体共有·総括	 ■ 各グループのディスカッション内容を発表し、全体で共有(1グループあたり2分×3グループ程度) ■ 登壇者からコメント ■ 分科会の振り返り、全体会(後半)の案内